

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年10月31日

【会社名】 株式会社フリークアウト・ホールディングス

【英訳名】 FreakOut Holdings, inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木六丁目3番1号

【電話番号】 03-6721-1740（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 永井 秀輔

【最寄りの連絡場所】 東京都港区六本木六丁目3番1号

【電話番号】 03-6721-1740（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 永井 秀輔

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1)当該事象の発生年月日

平成30年10月31日（取締役会決議日）

(2)当該事象の内容 及び (3) 当該事象の損益に与える影響額

1．関係会社株式及び貸付金に対する特別損失の発生

個別決算における影響

当社が保有する関係会社株式及び貸付金のうち、実質価額が著しく下落しているものにつき、関係会社株式評価損297百万円(連結子会社124百万円、持分法非適用関連会社173百万円)及び貸倒引当金繰入額61百万円を計上いたしました。

連結決算における影響

上記1の において記載した影響額のうち、連結子会社にかかる部分については消去されるため、連結決算においては投資有価証券評価損173百万円を計上いたしました。

2．連結納税制度適用申請による法人税等調整額の計上について

個別決算における影響

連結納税制度の適用を前提とした会計処理を行った結果、個別決算においては法人税等調整額を179百万円計上いたしました。

連結決算における影響

上記2の と同様の理由により、連結決算においては法人税等調整額を162百万円計上いたしました。

3．連結決算における営業外収益（持分法による投資利益）の計上

当社の持分法適用会社であるM.T.Burn株式会社と株式会社IRISが、四半期純利益を計上したことにより、当社グループでは平成30年9月期第4四半期会計期間において、持分法による投資利益として218百万円を営業外収益に計上いたしました。

その結果、当社グループでは当連結会計年度において、持分法による投資利益として891百万円を営業外収益に計上しております。